

農 研 速 報

2023年5月18日 発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ケ崎市大徳町 3974
 TEL:0297-62-0206 FAX:0297-64-0667

麦の生育状況(5月16日現在、龍ケ崎市)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況	備考
茨城県 (龍ケ崎市)	11月10日播種 小麦 (さとのそら)	乳熟期	2日早い	龍ケ崎における、4月第4半旬～5月第3半旬の気象および麦類生育概況は、下記の通りである。 【気象】 気 温:平均気温は、平年よりやや低かった。(平年比-0.2°C、図1)。 降 水 量:平年比 111%と平年並だった(図2)。 日照時間:平年比 111%とやや長かった(図3)。 【大麦の成熟期と生育】 平年に比べ、成熟期は2日～4日早かった。登熟日数は1～3日短かった。平年より、稈長は平年並～やや長く、裸麦はかなり長く、穂数はかなり少ない～やや少なく、裸麦はかなり多かった。倒伏程度は二条大麦が大きかった。穂長は平年並～かなり長く、裸麦はやや長かった(表1、写真1)。また、赤かび病が無～少程度発生した。5月7～8日の強風と降雨により脱ぼう及び穂首折損が多発した。 【小麦の予測成熟期】 今後の平均気温が平年並に推移した場合、成熟期は、平年より1～2日早くなることを見込まれる(表2、写真2)。 【注釈】 1)大麦の対平年遅速は、成熟期の実測値と平年値の差による。 2)小麦の対平年遅速は、予測成熟期と平年値の差による。	◆コンバイン収穫の適期 ・成熟期2～3日後から5日間 ・小麦・六条大麦:穀粒水分 30%以下 ・二条大麦:穀粒水分 25%以下 【収穫適期の目安 (出穂期後日数)】 ・小 麦:48～50日 ・六条大麦:約44日 ・二条大麦:約41日 ◆早刈りや刈り遅れは品質が低下するため、「適期収穫チャート」を活用し、適期収穫に努める。特に、今後高温で推移した場合、成熟期はさらに早まることが見込まれるため、刈り遅れないように注意する。
	六条大麦 (カシマムギ)	成熟期	2日早い		
	(カシマゴール)	成熟期	2日早い		
	二条大麦 (ミカモゴールデン)	成熟期	4日早い		
	裸麦 (キラリモチ)	成熟期	3日早い		
11月21日播種 小麦 (さとのそら)	乳熟期	1日早い			

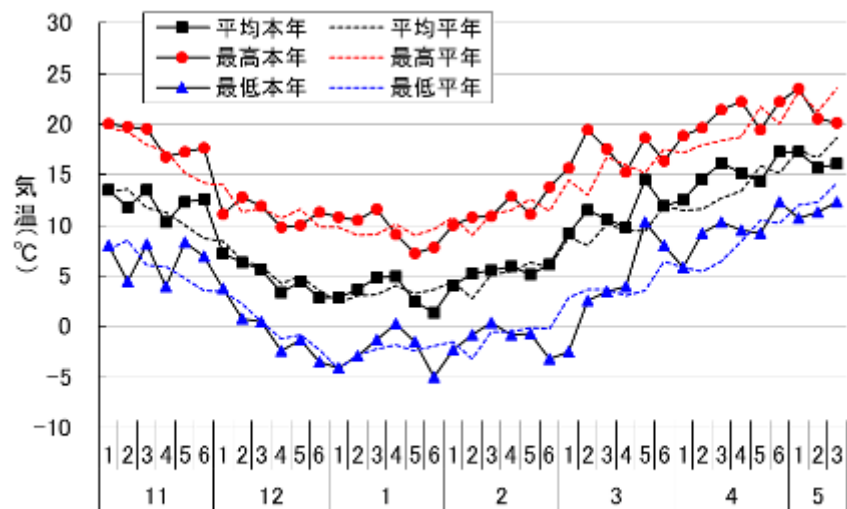


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)
注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

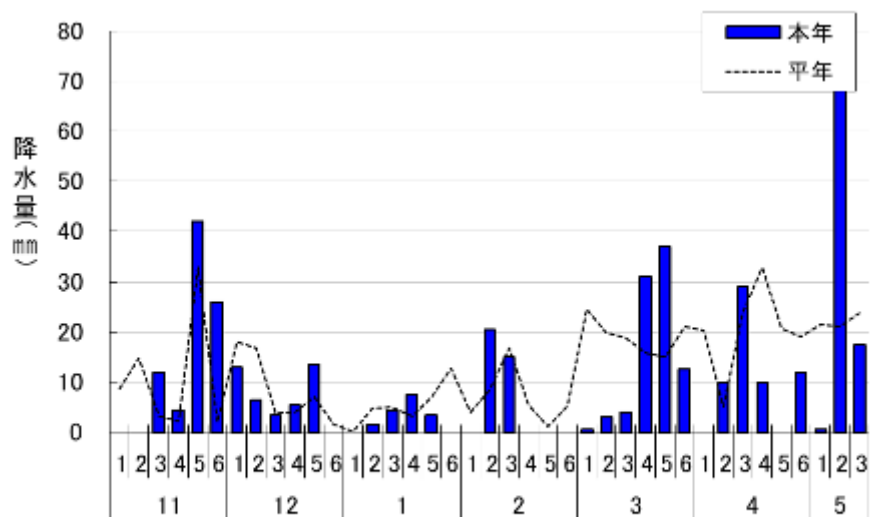


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)
注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

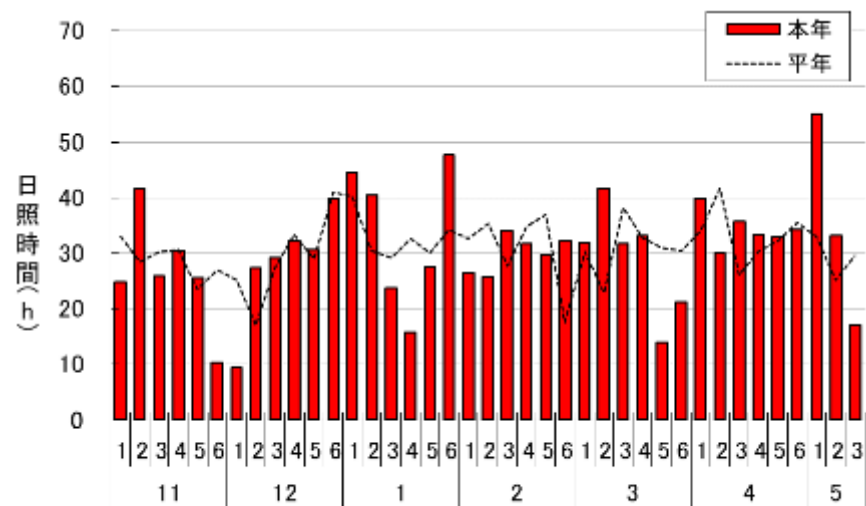


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)
注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

表1 輪換畑における麦類の生育(龍ヶ崎市、水田利用研究室)

播種期 (月.日)	麦種	品種名	出穂期			成熟期			登熟日数			倒伏程度		
			本年値 (月.日)	平年値 (月.日)	平年差 (日)	本年値 (月.日)	平年値 (月.日)	平年差 (日)	本年値 (日)	平年値 (日)	平年差 (日)	本年値 (0-5)	平年値 (0-5)	平年差 (0-5)
11.10	六条大麦	カシマムギ	4.2	4.2	0	5.14	5.16	-2	41	43	-2	0.0	2.7	-2.7
		カシマゴール	3.31	3.31	0	5.14	5.16	-2	43	45	-2	0.0	1.7	-1.7
	二条大麦	ミカモゴールドン	3.30	3.31	-1	5.11	5.15	-4	41	44	-3	2.5	1.6	0.9
	裸麦	キラリモチ	3.30	4.1	-2	5.14	5.17	-3	44	45	-1	0.0	0.0	0.0

播種期 (月.日)	麦種	品種名	稈長			穂長			穂数			有効茎歩合		
			本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (本/m ²)	平年値 (本/m ²)	平年比 (%)	本年値 (%)	平年値 (%)	平年差 (%)
11.10	六条大麦	カシマムギ	87	81	107	4.2	4.1	102	407	585	70	24	38	-14
		カシマゴール	86	83	104	4.1	4.0	103	480	647	74	27	34	-7
	二条大麦	ミカモゴールドン	99	88	113	5.4	5.0	108	630	711	89	26	35	-9
	裸麦	キラリモチ	82	75	109	6.6	6.4	103	810	574	141	31	31	0

【耕種概要】

- 圃場来歴：転換3年目（前作大豆）
- 播種期：平年の播種期は11月11日、20日
- 播種量：（小麦・六条）0.8kg/a、（二条）1.0kg/a
- 播種様式：条間30cm、ドリル播き（シーダーテープによる）
- 基肥：（小麦）N-P₂O₅-K₂O=1.0-1.5-1.3kg/a、（六条・二条）N-P₂O₅-K₂O=0.8-1.2-1.1kg/a
- 麦踏み：2022年12月20日、2023年1月12日、2月3日、2月22日に実施。
- 茎立期追肥：六条大麦・裸麦は2023年3月7日、小麦は3月10日施用。二条大麦は未施用。

【平年値】

2017年～2021年播種の5カ年の平均値、キラリモチは2019年～2021年播種の3カ年の平均値

【注釈】

- 登熟日数は出穂期の翌日から成熟期までの日数、倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階とした。

表2 生育予測モデルによる「さとのそら」の予測成熟期 2023年5月16日現在

播種期 (月.日)	予測成熟期					成熟期	
	低温 (月.日)	やや低温 (月.日)	平年並 (月.日)	やや高温 (月.日)	高温 (月.日)	平年値 (月.日)	平年差 (日)
11.10	6.2	5.30	5.28	5.27	5.25	5.30	-2
11.21	6.4	6.1	5.30	5.28	5.27	5.31	-1

【注釈】

1) 小麦「さとのそら」は、DVRモデルによる予測。実際の予測は、農業研究所ホームページ（下記URL）から表計算ソフトのファイルをダウンロードして行う。

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/mugikukidachisyussuiyosoku/mugikukidachisyussuiyosoku.html>

2) 予測成熟期の低温・やや低温・平年並・やや高温・高温は、予測日以降の平均気温が、それぞれ

□ -2°C ・ -1°C ・ $\pm 0^{\circ}\text{C}$ ・ $+1^{\circ}\text{C}$ ・ $+2^{\circ}\text{C}$ で推移した場合の予測値を示す。

3) 耕種概要と平年値は表1に準じる。

4) 平年差は、予測日以降の平均気温が平年並みに推移した場合の予測成熟期と平年値の差を示す。

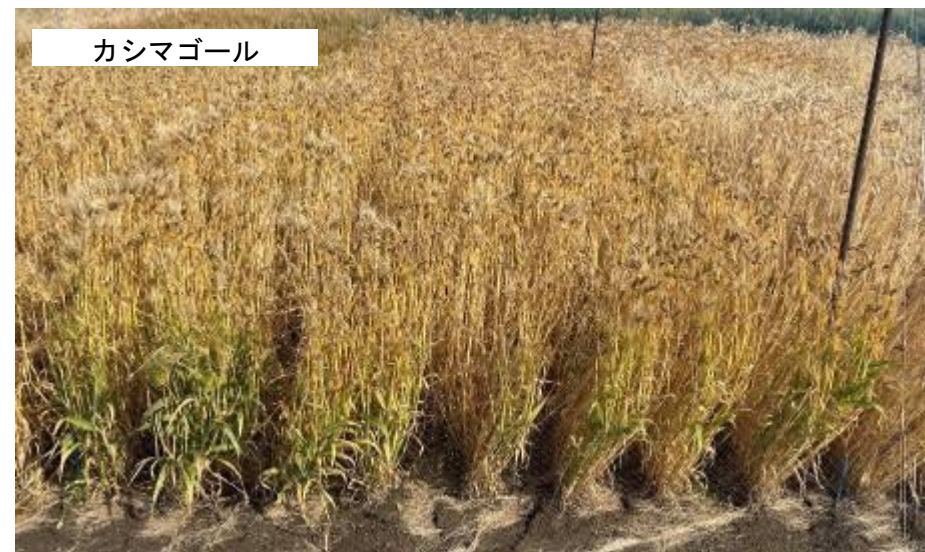
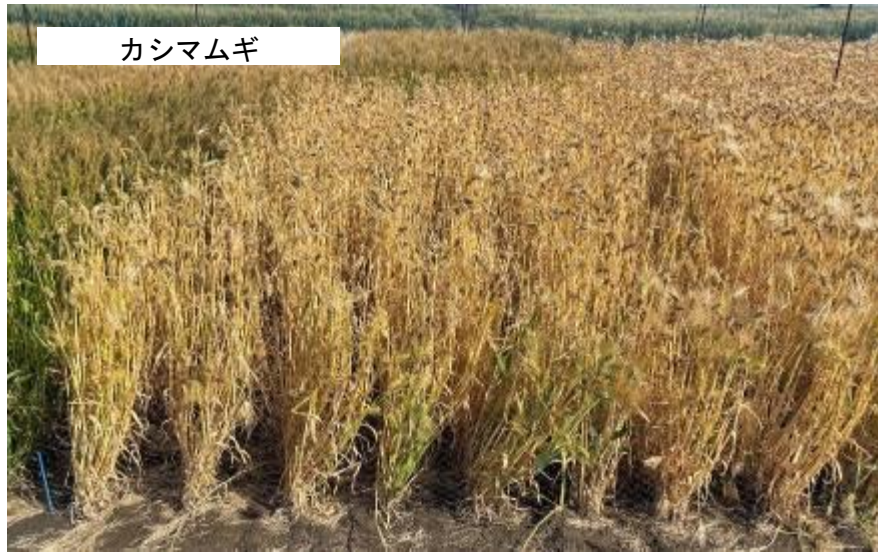


写真1 所内大麦の成熟期の状況(左上 カシマムギ、右上 カシマゴール、左下 ミカモゴールドン、右下 キラリモチ 全て11月10日播種
2023年5月16日撮影)



写真2 所内小麦の生育状況(左 11月10日播種、右 11月21日播種 2023年5月16日撮影)

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

